

学校だより「とよだ」

令和5年(2023年)7月5日 校長 橋本 和幸



【引き渡し】たいへんお世話になりました！

7月3日(月)の下校に際しては、急遽、保護者様にお迎えをお願いし、引き渡しをさせて頂きました(集団宿泊中5年除く)。お仕事その他、ご迷惑をおかけした点も間違いなくあったかと思いますが、皆様には快くご協力頂き、心より感謝申し上げます。当日早朝から注視し続けた雨雲レーダーや予想雨量等の状況で正午頃お願いさせて頂きましたが、結果的に午後から雨があまり降らず、申し訳ない思いをしたところです。申し訳ない思いは十分に持ちながらも、校区がたいへん広く、用水路等が多かったり大人の目が届きにくい箇所も多かったりする本校で頑張って登下校する子供達の安全第一で、今後も対応して参りたいと考えています。3日(月)早朝のメールでも触れたように、前日と予報が大きく変わり、急遽の対応となる場合もあり得ます。また、今回同様、結果的に予報がその後変わったりはずれたりしてしまうことが今後も生じるかもしれません。心苦しいばかりですが、今後ともなにとぞよろしくお願い申し上げます。

【用水路等で遊んだり、のぞき込んだりしない！】ご確認を！

「側溝(?)、水路(?)にかさを差したら、かさが落ちた。かさを拾おうとして、すべった…」と、ヒヤリとする出来事が最近ありました。田んぼの用水路のあぜ道を通って帰ろうとする子を見かけ、注意することもあります。梅雨も後半に入り、今後も大雨が予想されます。3日の雨では、「線状降水帯発生、各地で河川の氾濫・冠水、隣の宇城市で1時間110ミリの猛烈な雨…」等様々な報道が県内でありました。雨量が増えた後は、いつもと違う光景が広がり、子どもたちも興味を抱いていつもと違う行動をしてしまうこともありそうです。川や用水路に近づいたり、のぞきこんだり、遊んだりしない!」「田んぼのあぜ道を歩かない!」など、繰り返しお子様へのご指導をよろしくお願いいたします。

※なお、用水路等の近くを通らざるを得ず、誤って水路や際に物を落とすときは、「後で大人に知らせる」【物より命!】と担任から子供達に指導しています。ご理解ください

安全・安心な給食のために…

先日、熊本市の小中学校で使う青果物を査定する会に参加する機会がありました。たくさんの青果物が並べられる様は壮観でした。市場関係者や業者の方、実際に学校・給食センターで給食を作る職員の代表等が集まって、小中学校で7月に使う予定の野菜等(計39品目:ごぼうも「ささがき」・「洗い」で2品目で数えます)について、一つずつ確認します。天候や生育状況に基づき、どこの産地の物・どんな品種を仕入れる予定か、説明されます。時には実際に野菜を切って中身も確かめます。市産、県産、九州産、国産が占めることを知り、改めて心強く思いました。(バナナは外国産です。)大事に選んだ食材を今後も本校で大事に調理して、子どもたちに届けたいと思います。

